

在学生の皆さんへのメッセージ

学長の坂井貴文です。新年度の始まりにあたって在学生の皆さんへのメッセージを伝えたいと思います。

在学生の皆さんには、昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のためとはいえ、不要不急の入構禁止やオンラインによる遠隔授業の導入など、様々な不便や不安な状況を強いることになってしまい誠に申し訳ありませんでした。特に新2年生の皆さんには、入学式の挙行が叶わなかったことは断腸の思いです。

令和3年度はできるだけ対面授業を増やす方針のもと、前期（第1ターム、第2ターム）は対面と遠隔を同時に行うハイフレックス授業を含めて対面授業を全体の5割以上にします。しかし、ご存知のように、現在も首都圏における感染症の収束は見えず、第4波の到来も懸念されている状況です。対面授業では、①マスクの着用、②距離を空けての着席、③定期的な換気の励行、④着席する席周りの消毒、⑤万が一感染者が出た時に、近くに着席した学生を迅速に把握するための着座位置確認システム（各自スマートフォンにアプリを登録していただきます）の導入等による感染拡大防止対策を行いますので、是非ご協力下さい。

また、学内外の課外活動を条件付きで許可します。しかし、本学でも、「換気の悪い密閉空間」での活動によって感染した例があることから、密にならないことはもちろん、活動場所での十分な換気、「間近で発声をする密接場面」を作らないなどの感染防止対策を十分行うようにして下さい。また、課外活動の前後に皆で飲食を行うことを厳に慎んでいただきたいと思います。皆さんとご家族、地域の方々の安全と、大学内でクラスターを発生させないために本学の定めた感染防止対策を励行されますよう重ねてお願いいたします。

さて、以前より、反転授業など、遠隔授業と対面授業を組み合わせることで教育効果をあげる試みが行われていましたが、本学での実施例はほとんどありませんでした。しかし、昨年度、大学への入構を禁止せざるを得ない状況になり、背中を押される形で遠隔授業を導入しました。当初は、学生のみならず教員も機材の利用に不慣れなことから戸惑うこともありましたが、皆さんのご協力と様々な工夫により当初考えていたよりもスムーズに講義を進めることができました。この過程で、ブレイクアウトルームの利用により少人数でのディスカッションが可能になったり、チャット機能を使って質問がしやすくなったりと、対面授業と違った良さがあることも分かってきました。アンケートによると、学生の皆さんの70パーセントが遠隔授業をポジティブに評価しています。今後は対面授業と遠隔授業の利点を取り入れた新しい授業形態を考えていくことになると思います。一方、今回の新

型コロナウイルス感染症の拡大防止や社会に与える影響を緩和するために取られた様々な対応により、今まで進まなかった変革が10年早まったと言われていています。新型コロナウイルス感染症は我々に多くの負の遺産を残すと同時に、新しい動きも創出します。「転んでもただでは起きぬ」の精神を持って、ポストコロナ時代を逞しく生きて行こうではありませんか。

最後に、新型コロナウイルスの特徴として、健康な若者は感染してもほとんど症状が出ない不顕性感染者となることから、知らないうちに仲間やお年寄り、基礎疾患を持つ方に感染を広げる可能性が指摘されています。在学生の皆さんはこのことをしっかりと認識して、「感染しない」、「感染させない」ことを第一に考えて、節度ある行動をとるようにして下さい。

かつて流行し甚大な被害を及ぼしたスペイン風邪も今は普通の風邪になっています。現在、猛威を奮っている新型コロナウイルスも必ずや人間の英知と協力によって終息します。今しばらくは不便な日々が続くと思いますが、希望を持って新学期を始めたいと思います。

令和3年4月6日

埼玉大学長 坂井貴文